



令和5年4月版

〈 学校教育目標 〉 やさしく かしく たくましく



めざす子ども像 気づき・考え・実行する子ども

めざす学校の姿

明るく落ち着いた学校
学び合い高め合う学校
存在感が実感できる学校
信頼と活気に満ちた学校
安全で内外に開かれた学校

友だちを大切にする子

いじめ・不登校・暴力のない楽しい学校
～豊かな心と感性、しなやかな心を備えた子どもの育成～

アクションプラン

考え議論する「特別の教科 道徳」の実践
(意図的・計画的な実践) / いじめ防止基本方針の徹底 (子ども理解の学級経営) / 友だち調査・Q U調査の活用 (学級づくりの礎) / 児童会活動の充実 (常時活動と創造的活動を両輪に)

めざす教職員の姿

認め合い励まし合う教職員
子どもに学び共に育つ教職員
専門性を身につけた教職員
チームの和を大切にする教職員
誰からも信頼される教職員

自らすすんで学ぶ子

楽しさに支えられた共創の学び
～確かな学力を身に付けた子どもの育成～

アクションプラン

全国学調の活用 (強みと課題の見える化) / 校内研究の充実 (一人最低一実践) / スタンダード系の正しい理解に基づく授業改善 (日々の授業の改善) / 学習習慣の定着と学習意欲の醸成 (崩れない学級経営) / 家庭学習の確立 (発展的学習への布石づくり) / 一人一台端末の活用 (活用の日常化)

明るく元気ががんばる子

安全・安心な空間と時間に包まれた学校
～習慣と実践力を身に付けた子どもの育成～

アクションプラン

信頼される教師集団 (教師人間力を備えた教師) / 運動の日常化 (体力づくり運動) / 生活習慣の確立 (家庭力・学級力) / 安全指導・教育の推進 (アフターコロナ下の生活様式) / 危険予測・回避能力の育成 (多様で実践的な訓練等) / 危機管理マニュアルの周知 (コロナ感染防止, 学校事故, 食物アレルギー)

子どもよりよく生きようとする心豊かな存在

保護者・地域とともにある学校
～ 志は高く敷居は低く ～

学校評価 (成果と課題の見える化) / 情報発信 (タイムリーさと情報量の多い学校だより・HP) / 地域人材活用 (見守り隊による安全確保や愛育会・老人クラブ・食推等による学習支援) / 湯田教育推進会議 (CS学校運営協議会) / 保護者等アンケート実施 (評価から学ぶ) / 学校開放 (コミュニティの核として)

こんな教職員に
～ 自信と誇り, 自負を持った教職員 ～

OJTによる人材育成

意識項目7か条

- ① どうせやるなら・・・
楽しく創造的に (人間性が表れる仕事を)
- ② 授業 (仕事) で勝負できる教師 (職員) に崩れない学級経営あつての授業
- ③ 「あいさつ」が人間関係づくりの基本
あいさつがいい加減が職場をつくらない
- ④ ビジネスマナーの徹底
教師の常識は世間でも常識に
- ⑤ 小規模校の「強み」を生かして
「小規模校だからできる」逆転の発想で
- ⑥ (自称) 多忙化改善推進校
待っていても何も変わらない
キーワードは「意識改革」
- ⑦ 服務規律の徹底
信頼は「スピード」と「誠意」から



共感・共歓・共汗

みんなが顔晴る湯田小学校

